



ANCIENT WOODEN ARCHITECTURE IN SOUTH-EAST ASIA



考古学的知見から読み取る
大陸部東南アジアの古代木造建築

日時：2017年2月13日（月）

会場：東京文化財研究所 地下セミナー室

言語：英語／日本語（同時通訳付）

考古学的知見から読み取る大陸部東南アジアの古代木造建築

開催趣旨

東南アジアでは古代から豊かな木造建築文化が発展し、木造の宮殿や寺院が建築された。しかし、古い時代の木造建造物の実物は現存しないため、その特徴や技術については不明な部分が多い。

本研究会では、大陸部東南アジアにおいて、考古学的調査によって得られた知見を通して、既に失われた古代木造建築の実像に迫ることを目的とする。さらに、各国における情報を共有し、比較検討することによって同地域内での共通性と国ごとの特質について考察を行いたい。

プログラム（日 / 英同時通訳付）

- 9:45-9:55 開催挨拶**
亀井伸雄（東京文化財研究所）
- 9:55-10:45 考古学的知見から見たミャンマーの古代木造建築**
ゾー ミョー チョウ（ミャンマー宗教文化省考古国立博物館局）
- 10:45-11:35 考古学的知見から見たタイの古代木造建築**
ナッタヤー プーシー（タイ文化省芸術局）
- 11:35-12:25 考古学的知見から見たカンボディアの古代木造建築**
チェイ ラッチャナー（カンボディアAPSARA機構）

昼休憩

- 13:25-14:15 考古学的知見から見たチャンパの古代木造建築**
チャン キイ フォン（元チャム彫刻博物館）+山形真理子（金沢大学）
- 14:45-15:35 考古学的知見から見た北部ベトナムの古代木造建築**
友田正彦（東京文化財研究所）
- 15:35-16:55 パネルディスカッション**
発表者6名+海野聡（奈良文化財研究所）
- 16:55-17:00 閉会挨拶**
中山俊介（東京文化財研究所）

実施概要

日時：2017年2月13日（月）

会場：東京文化財研究所 地下セミナー室
（東京都台東区上野公園13-43）

定員：120名（入場無料）
（申し込み不要。当日、直接ご来場ください。）

お問い合わせ：
東京文化財研究所 文化遺産国際協力センター 担当：マルティネス、北山
住所：〒110-8713 東京都台東区上野公園 13-43
電話：03-3823-2431 FAX：03-3823-4867
E-mail：kitayama20@tobunken.go.jp
Website（日本語/English）：<http://www.tobunken.go.jp/>（新着情報に掲載）

アクセス

JR「上野駅」公園口「鶯谷駅」南口より徒歩10分
東京メトロ 日比谷線/銀座線「上野駅」千代田線「根津駅」
京成電鉄「京成上野駅」より徒歩15分

